

令和 4 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	高浜町スマートタウン推進事業	
補助事業者名	高浜町	
補助事業の概要	「１．スマートな暮らしを実感できる機能を有したモデルエリアの形成」に向けた基本構想の策定（県補助対象）、「２．公共施設群再エネ導入プロジェクトの推進」に向けて、①公共施設群見える化システム検討・導入計画策定業務、②高浜中学校の大規模改修工事設計に合わせた太陽光発電設備・蓄電設備設置実施設計業務、③次世代モデルに向けたＥＶ充放電設備の役場庁舎への設置を実施（エネ高対象）した。	
総事業費	１１，７４８，０００円	
補助金充当額	１１，７４８，０００円	
定量的目標	１）モデルエリアの形成 １箇所 ２）公共施設群における再エネ導入 FS 調査対象の 20 施設のうち PV 設置施設を、2030 年までに 10 施設へと拡大 ３）次世代再エネ事業モデル（ＥＶを活用した施設使用電力のピークカットの実証、災害時のＥＶの代替電源化、モデル事業の普及による電力の施設間融通など）の調査研究の実施	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	１）モデルエリア形成に向けた施設整備・運営手法の比較及び事例の整理を行うほか、町内事業者参画に向けた公募条件の検討及びヒアリングを実施し、スマート化の支援制度及び事業手法の検討を実施した。 ２①）公共施設群見える化システム検討及び防災強化・循環モデルに向けた公共施設向け導入計画を策定した。 ２②）大規模改修を見越した需要予測及び設備容量を算出し、実施設計を実施した。（太陽光発電設備 63.72kW、蓄電池 33.6kWh） ２③）高浜町役場に設置してある太陽光発電設備による再生可能エネルギーを活用した公用車用のＥＶ充放電設備（6KVA）１台の設置及び電源供給のための配電設備を設置した。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	２①）本業務は、公共施設群における 各情報管理・見える化・制御ソリューションの調査や検討を行うものであり、専門性が高く豊富な実績と十分な知見が必要であるため、長年専門分野に精通した者に委託しなければ必要な成果が得られないため。 ２②）本業務は、地域や施設、設備の特性を踏まえたうえで、再生可能エネルギー発電

		設備を含む最適な計画と設計を行う必要があり、幅広い専門知識と設計能力が必要であるため。 2③：電気工事に関する知識と施工能力を要するため、専門業者でなければ実施不可能であるため。
	契約の方法	2①) 随意契約 2②) 指名競争入札 2③) 指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	2①) オムロンソーシアルソリューションズ（株） 2②) （有）カワベ・コーポレーション 2③) （株）安田電気工業
	契約金額（間接補助金額）	2①) 3, 850, 000円 2②) 1, 199, 000円 2③) 6, 699, 000円
来年度以降の事業見通し	上記「補助事業の成果及び評価」を踏まえつつ、引き続き、「①スマートな暮らしを実感できるモデルエリアの形成」、「②公共施設群再エネ導入プロジェクトの推進」の取り組みを進め、エネルギー構造高度化に関する理解を促進させていく。	

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。